

日・タイを結ぶ人材育成・活用について、 クールジャパンの切り口から考える

平成30年3月26日

内閣府 知的財産戦略推進事務局政策参与
浜野 京

Cool Japan Business Seminar

Japan & Thailand: Future Together on Human Resources Development

日タイ両国を結ぶ人材育成

タイでは日本のコンテンツ・食に対し高い関心がもたれています。日本のクールジャパン関連産業では多くのタイ人材が活躍しており、様々な日本関連企業がタイに進出しています。

日本とタイが経済関係を一層深め、両国の経済発展に資するため、日本において、あるいはタイの日本企業で働きたいタイ人のニーズとタイ人材を雇用してビジネスの発展させていきたい日本企業の効果的なマッチングや情報交換、そのための産業、教育機関、国・地域等が連携した取組が重要です。

今回のセミナーは、日本とタイのキーパーソンをお招きし、政府や民間でどのような取組みを行っていくべきかを議論し、クールジャパン産業のダイナミックな発展に活かしていくことを目的としています。皆様ぜひ、ご参加ください。（同時通訳進行）

開催概要

【 日 時 】 2018年1月27日（土） 15:30～17:00

※セミナー終了後に、ネットワーキング（フリートーク及び名刺交換の時間）を予定。
（17:00～18:00）

【 会 場 】 JAPAN EXPO THAILAND2018内 ZENデパート 8階 ZEN Event Gallery
（4/4/5, Soi Rajadamri 2, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok 10330 ※セントラルワールドプラザが隣接）

【 主 催 】 内閣府 知的財産戦略推進事務局

【 後 援 】 日本貿易振興機構（JETRO）、バンコク日本人商工会議所

【申込み締切】 2018年1月26日（金） ※定員に達し次第締切

【申込み方法】 申込みWEBサイト

（PC用） <https://goo.gl/forms/tjR4XkMpibpD4F9j2>

（モバイル用） <https://goo.gl/forms/Da6XOS77OULkQ5WM2> ※モバイル用QRコード



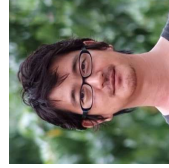
参加無料
先着100名



岩崎 太郎 氏

KADOKAWA AMARIN Co., Ltd. 代表取締役COO

興業連にて中国、北米、シンガポールでの事業展開を経て、2015年より株式会社KADOKAWA海外事業開発部に在籍。2016年よりタイ駐在、現職。ライオン・オムニブックスのタイ語翻訳出版、アニメグッズの販売、およびアウトバンド関連事業を主力事業として活動。



勝田 隆仁 氏

ROSE ARTIST MANAGEMENT DIRECTOR,

BNK48 PROJECT PRODUCER

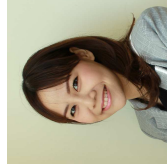
タイのパートナーと共にROSE ARTIST MANAGEMENTを創業しAKSと共同出資でBNK48を立ち上げる。一方、大分スノーitz 湯布院ミル」のタイ展開を成功させ、複数店舗を展開。BNKを活用した地方プロモーションにも取り組む。



ガンタトゥン ワンナワス 氏

MEDIATOR Co., Ltd. CEO

在日経験通算15年。2009年にMEDIATOR CO., LTD.を設立。日本貿易振興機構（JETRO）や福岡県などの日本政府機関、地方自治体の仕事を担当する他、日本の6つの組織でアドバイザーとして日本企業をサポート。

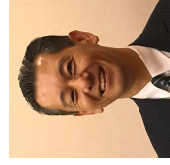


パーヌナン カルデニー 氏

Pasona HR Consulting Recruitment Co., Ltd.

Assistant Manager

2007年武蔵工業大学卒業、タイでJALに就職。2013年よりパソナ社にて、タイ人と日本人の転職サポートや、Japan Internshipのプロジェクトマネージャー等、日本とタイの架け橋となるために精力的に活動。



三又 裕生 氏

日本貿易振興機構（JETRO）バンコク事務所長

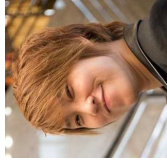
1987年通産省（現経済産業省）入省。30年余にわたり、日本のインベシジョン政策、情報政策、中小企業政策、エネルギー・環境政策の立案等に従事。2013年クールジャパン機構法の制定に関与。2016年7月より現職。



山本 佳寛 氏

MARUKOME THAILAND Co., Ltd. 代表取締役社長

タイの7割以上の味噌市場を保持するマルコムタイ法人を束ねる。2013年、前所属先でもタイ法人を立ち上げる。タイ在住延べ5年目に突入。マルコムタイ法人では日本採用のタイ人が日本語を駆使して日系顧客に向き合うなど人材を効果的に活用。



ユバレット エトラ帕カル 氏

G-Yu Creative Co., Ltd. President&CEO

日本語学校・日本留学センター、マニチアがデジタルグループを15年以上に渡り経営、延べ3万人以上のタイ人学生に日本語教育を行う。自身の日本留学の経験を活かし、日本の民間企業・公的機関と連携し、シヤパン・エキスポタイランドの主催をはじめ様々な日本関連イベントを企画・運営。



浜野 京氏（モデレーター）

信州大学理事、内閣府政策参与（クールジャパン戦略担当）

日本貿易振興機構（JETRO）初の女性理事（～2015）。生活文化サセテラス分野に精通し、数々の公職を歴任。2015年10月より内閣府政策参与としてクールジャパン戦略を担当。同時に信州大学理事にも就任。国立大学の経営力強化を目指す。

問題意識(背景)

- アセアン諸国で留学生・社会人等人材の獲得競争が激化している。
- 親日的と言われるタイの人材を獲得・活用することでさえ、成功しているとは言えない。
- タイは中国、メコン流域へのビジネスネットワークがあり、食、コンテンツ等クリエイティブ・インダストリーにアドバンテージがある。これを日本が活かさない手はない。

パネリストの主な意見

○日本を留学先とすることについて

- ・日本でもっと学びたかったが、学び続けるための奨学金が少なかった。
- ・求められる日本語のハードルが高かったため、米国に留学した。

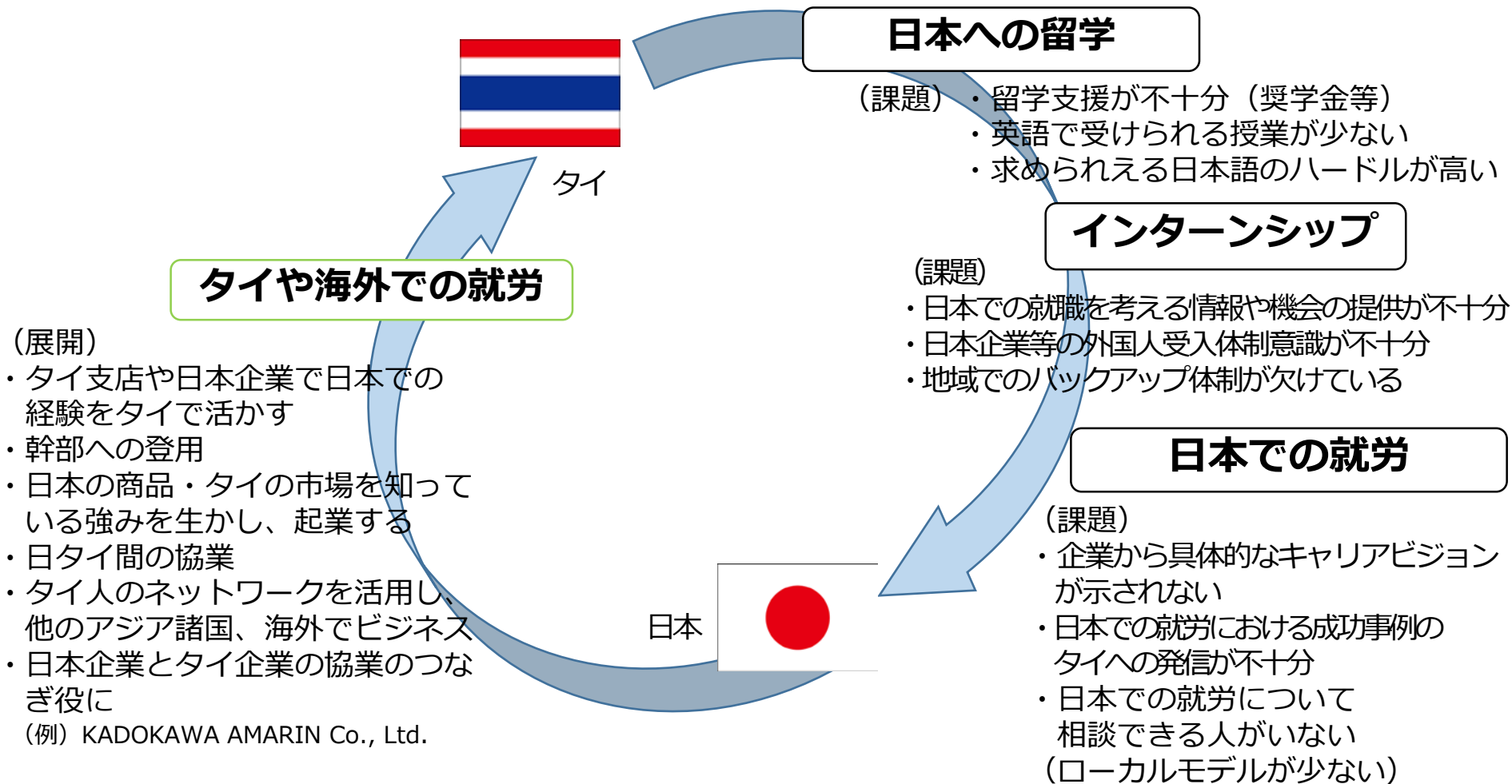
○日本での就業環境について

- ・情報が少ない。
- ・日本での就労の際に、企業から具体的なキャリアビジョンが示されなかった。
- ・タイ人留学生の先輩に、日本企業に就職したロールモデルがなかった。
- ・日本で活躍するタイ人を増やすには、日本に就業して成功した事例を本人や親に、より効果的に発信する必要があるのではないか。
- ・日本における就労について相談できる先が見つからなかった。

○タイ人の人材に期待すること

- ・日本企業は、日本の商品とタイの市場の双方を知っているタイ人の強みを活かしてほしい。
- ・一般に、ベトナム人はソフトウェア・エンジニアリングに、タイ人はデザイン・クリエイティブといったように、適性についての傾向があるのではないか。今後、タイ人はクリエイティブな分野で、より活躍できる可能性があると思う。

<タイ人材の戦略的活用(キャリアトラック)>



改善への提案

日本側の意識改革を

- ◆ 労働力が足りないから、外国人でも雇おうという上から目線では雇用できない。
- ◆ 日本への留学、日本企業での就労がどんな魅力があるか、留学からインターン、日本企業での就労、海外(タイ)支社の幹部としての登用等のキャリアパスを語れるように、日本経営者等の意識改革が必要。
- ◆ アジアと一括りにしても、国ごとに多種多様。その国のアドバンテージを活かした人材の活用を考えた人材獲得が重要。

情報発信の強化

- ◆ 留学やインターン、就労に関わる情報を国内外に発信する。
- ◆ 日本留学、就労の身近な成功例を多数発信する。

地域でタイ人育成・活用の仕組み(コンソーシアム)を作る

- ◆ 地域でタイ人材の育成・活用をインバウンド⇔アウトバウンドを通して戦略的に実践する。
- ◆ 日本全国に普及、啓発するため、ベストプラクティスとなる地域をつくる。